

2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際 > エ 活動プログラムの実践  
 <中学校(学級)> 活動プログラム②トラブル未然防止のスキル



**ペアやグループを意図的に構成して、実践しました！**

1 活動プログラムの展開案において、グループでの活動がある場面を確認しました。

【活動プログラム3時目の展開案より】

<p>【トラブルになりそうな場面②】                  掃除が終わると、Bさんはいつもバケツの後片付けをせずに、先に教室に帰ってしまいます。そのため、同じ掃除グループのAさんは、いつもバケツの後片付けをすることになり困っています。                  Aさんは、Bさんに今日こそはバケツの後片付けをしてほしいと頼みに行きます。Bさんとトラブルにならないようにするためには、Aさんはどのような話し方をすればよいでしょうか。</p>	<p>【スライド16】                  ○4人グループになり、自分の書いたシナリオを発表して、話し方の練習をします。</p>	<p>学習活動4                  話し方のポイントを使って練習をする</p>
<p>【スライド17】                  ○Aさん役とBさん役、観察役(2人)に分かれて練習をします。</p>		

資料1 活動プログラム3時目におけるグループ活動の場面



2 活動プログラム①の実践後に「グループ活動アンケート」(1回目)を実施しました。

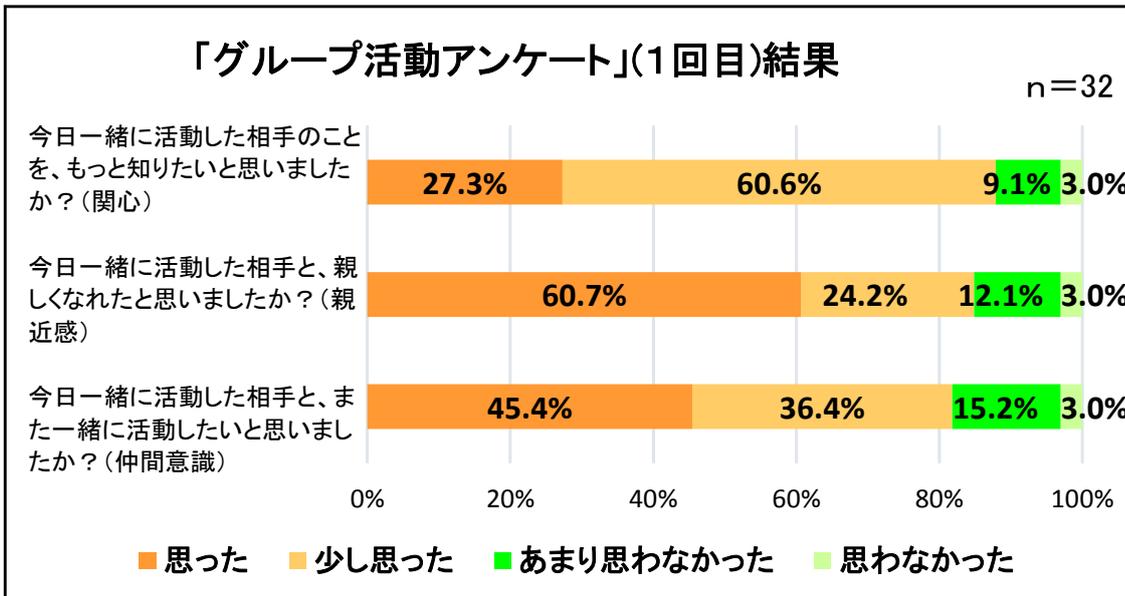


図1 「グループ活動アンケート」(1回目)結果



3 学習のねらいと「グループ活動アンケート」(1回目)の結果から、以下のようなグルーピングのための視点を挙げました。

○アサーションスキルやソーシャルスキル・トレーニングの学習を通じた、自他尊重の自己表現のスキルを学ぶため

- ・練習したスキルを実際の場面で使うことができるようにするため、授業で取り扱う掃除でのトラブルの場面に合わせて、同じ掃除班の生徒同士を組む。

○グループでの活動が停滞しないようにするため

- ・友達との関わりが苦手な生徒と、相手のことを考えて発言するなどの気遣いができる生徒を組む。
- ・授業で取り扱うトラブルの場面と同じトラブルを経験したり、トラブルが継続したりしている生徒同士は組まない。
- ・掃除でのトラブルの場面をロールプレイングする活動とグループでの気付きや感想を交流する活動を行うため、活動の進行ができる生徒をグループに配置する。



4 「PIGシート①」を活用して、「グループ活動アンケート」(1回目)の結果と担任の観察を基にして総合的にアセスメントし、グルーピングを行いました。

※資料2は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

										【取扱注意】	
PIGシート① (中学校)		振返 ①	振返 ②	グループ活動 アンケート [実施日 ○/○]			理由などの 特記事項	担任等の観察 [実施日 ○/○]		グループの編成	
No.	氏名	学習に進んで参加できた	学習に進んで参加できた	活動した相手をもっと知りたいと思う	活動した相手との距離が縮まったと思う	活動した相手とまた一緒に活動したい		押しつけさん	もじもじさん	さわやかさん	怒りについて知る
1	〇〇 〇〇	4	4	3	4	2			◎	B	E
2	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4	✓	✓		D	要支援 E
3	〇〇 〇〇	3	2	2	2	2				C	B
4	〇〇 〇〇	4	3	3	2	3				G	D
5	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4		✓		F	不満足 H
6	〇〇 〇〇	4	4	3	4	3			◎	A	H
7	〇〇 〇〇	3	4	3	3	3				D	I
8	〇〇 〇〇	3	3	3	3	3			○	A	C
9	〇〇 〇〇	4	4	4	4	4		✓		F	C
10	〇〇 〇〇	3	4	4	4	4				C	A

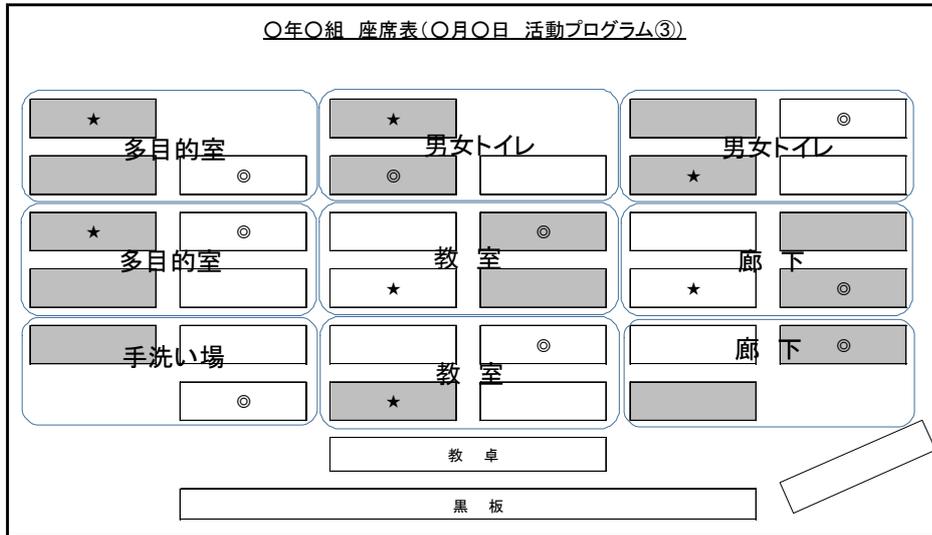
資料2 「PIGシート①」を活用したグルーピングの実際



5 実際の座席は、以下の点に気を付けて配置しました。今回、配慮した生徒は7名です。

※資料3は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

- ・ 座席は掃除班で配置する。
- ・ グループ活動で机を寄せ合う場面で、男女がバランス良く交わるように座席を配置する。
- ・ 配慮を要する生徒は、気遣いができる生徒の隣に配置する。



資料3 座席配置の実際



6 実際の授業は、以下の通りです。

過 程	●配慮の実際	・生徒の反応や教師の気付き
【授業前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存の掃除班を生かし、授業で取り扱うトラブルと同じトラブルを経験したことがある、またはトラブルが継続している生徒同士が同じグループにならないようにグルーピングした。</li> <li>●話合い活動を進めることができる生徒を各グループに配置し、グループ活動では進行役とした。</li> <li>●授業当日の朝、担任から生徒に主な学習内容とそれに伴った座席配置について伝えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の反応や教師の気付き</li> <li>・ 座席配置については、黒板に座席表を掲示して説明した。学級全体に対して示したため、座席の変更についてはスムーズに進めることができた。</li> </ul>
【授業中】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ活動で机を寄せ合う場面で、男女がバランス良く交わるように座席を配置した。特に、配慮した生徒については、元の座席の場合でも机を寄せ合う場合でも、気遣いができる生徒を隣に配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロールプレイングのシナリオを考えることが難しい生徒へ、同じグループの友達が優しく関わる姿が見られた。</li> </ul>

置した。

- グループ活動が円滑に進められるようにするため、机を寄せ合う場面で、グループの右前の座席の生徒を進行役とした。



【グループ活動の様子】

- ・配慮した生徒は、考えたシナリオでロールプレイングを行い、笑顔で活動することができていた。
- ・進行役を決めていたため、グループでのシェアリング等において、活発な話合いが見られた。

困ったときに  
使えるなと思  
った。



【配慮した生徒の感想】

- 【授業後】 ●配慮した生徒の様子を観察し、必要に応じて声掛けをした。

- ・授業後、友達とトラブルになりそうな場面で、授業を想起し穏やかに自分の意見や別の提案をしている場面が見られた。

# 実践してみたら、このような生徒の姿が見られました！

◆授業後の生徒の反応（「グループ活動アンケート」・「振り返りシート」より）  
 ※配慮を要した生徒は7名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

○グループ活動における生徒の友達に対する意識の変化について

・「グループ活動アンケート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮を要した生徒は7名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

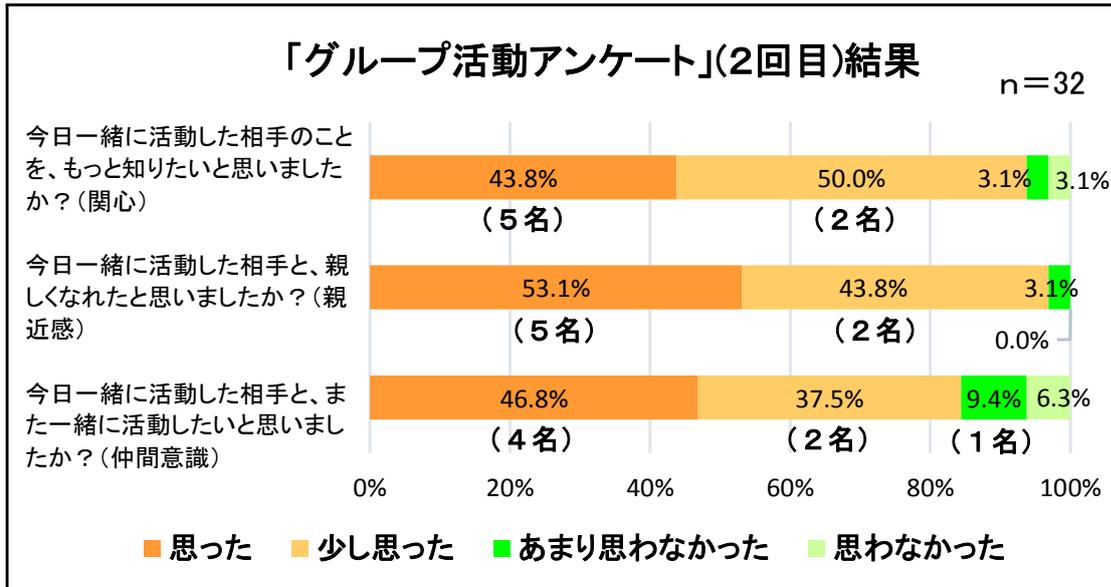


図2 「グループ活動アンケート」(2回目)結果

・配慮した生徒の感想



今日一緒に活動した友達は、前から仲の良い友達だったから、相手との距離が縮まったとは思いませんでした。

○グループ活動で取り扱った「トラブル未然防止のスキル」の学習について

・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮を要した生徒は7名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

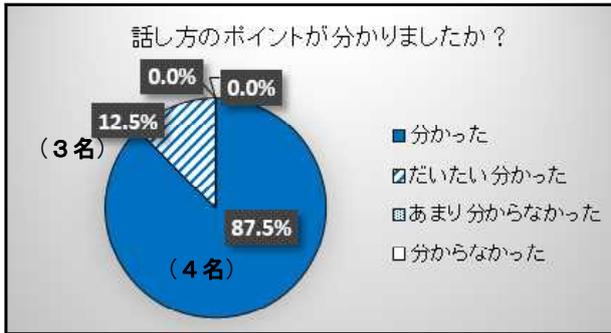


図3 話し方のポイントの理解について (3時目)

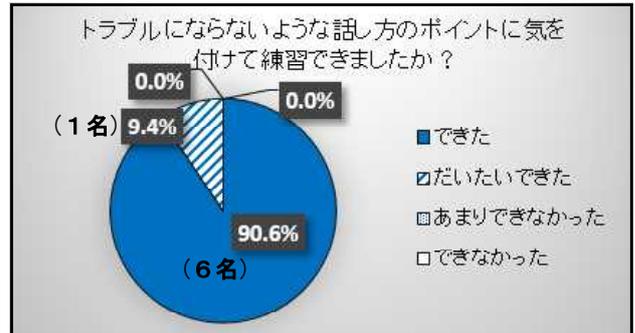


図4 話し方の練習について (3時目)

・生徒の感想



人に頼むときは、押し付けたように言わないで、自分の気持ちを伝えたり別の提案をしたりしたらいいんだと、練習してよく分かりました。



今日は新しい座席だったので緊張しました。話していくうちにだんだん相手のことが分かってきて、練習をしていくうちに話せるようになり楽しく活動できました。

○グループ活動を取り入れた学習への参加状況と学習内容に対する活用意欲について

・「振り返りシート」の質問項目に対する生徒の回答の結果

※配慮を要した生徒は7名で、グラフ上に人数を（ ）で示しています。

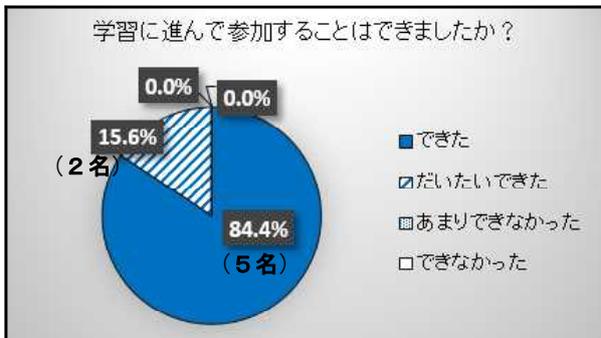


図5 学習への参加状況について (3時目)

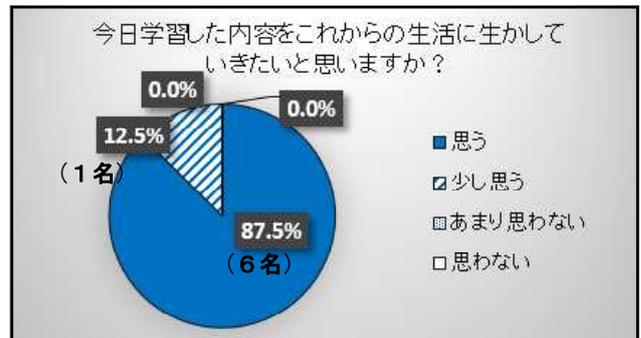


図6 学習内容に対する活用意欲について (3時目)

## ・ 生徒の感想



今日は、どうやって頼めば友達が納得してくれるかを学習することができました。話すときは相手の顔を見て、気持ちを込めて話し方のポイントを使うと、お互い気持ちが良くなりました。これからも生活の中で実践していきたいと思いました。



実際に練習をしてみて、話し方でこんなに変わるのだと思いました。怒ったように一方的に話してケンカになってしまったことがあったので、これからは、今日習ったポイントを使って話していきたいと思います。

## ◆ 授業後の教師の感想

新しいグループでの授業でしたが、生徒たちは前回よりも積極的にグループ活動に参加していました。学校生活における日常場面をロールプレイングで取り扱うことで、「自分だったらこんな言葉で頼もう」と、自分の言葉で台詞を考えることができていました。また、練習する場面でも、進行役を中心にスムーズに活動することができていました。実際に練習することで日常場面でも生かしていくことができるのではないかと思います。

配慮した生徒は、同じグループの気遣いができる生徒にさりげなく声を掛けられ、楽しく活動することができました。

